

令和4年度 利尻富士町みなとづくりセミナーを開催しました

利尻富士町 産業振興課

12月16日(金)に利尻富士町みなとづくりセミナーを開催しました。本セミナーは、錨泊港の新たな長期構想策定の参考とするため、昨年度から開催しているものです。当日は、町内の港湾・漁港関係者や商業・観光関係者20名が参加するとともに、稚内開発建設部からもオブザーバー参加していただきました。

島谷副町長の開会挨拶の後、関産業振興課長から「港湾の現状と課題及び長期構想」について説明を行い、講演に入りました。

講演は最初に、釧路みなとオアシス協議会 おもてなし部会長の金子ゆかり氏に「みなとまち つながるまちづくり」と題して、WEBによりご講演がありました。金子さんは釧路みなとオアシス協議会の他に、くしろ橋南西ゆめこい倶楽部、啄木・雪あかりの町・くしろ、建築士会釧路支部、チームくしろ防災女子及び旧五十嵐家住宅保存の会などに所属し、それらの連携した活動が紹介されました。「いろいろな活動が続けるためには人の助けが必要で、人と人のつながりが大切」、「これは！と思う縁は手放さない」、「行政を味方につける」、「お互いの立場を尊重する」、「役職では無く、名前で呼びあえる関係をつくる」、「つながりつ

づける努力も必要」という、実際の活動を踏まえた、みなとまちづくりに非常に参考となるご講演でした。

次に、北日本港湾コンサルタント(株)第1技術部次長 石川 浩希氏から「離島地方港湾の機能の利活用に関する共同研究」と題して、ご講演がありました。本研究は(一社)寒地港湾空港技術研究センターとの共同研究で、奥尻港と江差港を対象に、対象地域の交流人口拡大、港の機能上の課題やニーズの抽出、港の機能を活用した交流人口拡大方を目的に、令和3年度から3ヵ年で調査研究を行ったもので、その成果の一部を紹介していただきました。交流モデルによる体験メニューや滞在案の提案や、地元関係者によるワークショップの開催等、利尻島においても今後、参考になるご講演でした。

講演の後、参加者からご講演を聞いての感想や、港湾利用や観光に関する課題などの意見交換を行いました。

最後に、稚内開発建設部 田川技術管理官及び田村町長から講評を行って、セミナーを終えました。



島谷副町長による開会挨拶



石川 浩希氏による講演



金子ゆかり氏による講演



参加者からの意見発表